

## 2022年度事業計画書

特定非営利活動法人未来ISSEY

## 1 事業実施の方針

前年度に引き続き、支援の対象者である「子ども」を「将来病気になるかもしれない存在」と捉え、「子どもが病気になっても子どもその家族が前向きに生活を送れる未来を目指して」活動を進めます。

具体的には、

①核となる対象者「病弱児とそご家族」への支援活動の充実

②より広く子どもたちの健やかな成長に寄与する事業の展開

について継続・拡大します。

特に①核となる対象者「病弱児とそご家族」への支援活動の充実のため、休眠預金活用助成「心のヨリドコロから始まる ママと子どもの自立支援事業～病気を抱える子どもとその母親が経験者と共に集い、心理的・経済的自立を目指す～」が決定し、法人として居場所を構えることは、大きな一歩です。

また当事者の孤立や負担に寄り添うべく年の近い学生サポーターとのふれあい・交流体験や学習支援、相談事業など家族への支援をするための事業を継続的に行っていきます。

家族(特に保護者)支援として、香川県・高松市との自立支援事業委託(電話相談・経験者相談会)も継続となりました。

前年度から引き続き、コロナ禍で負担が二重になる入院付き添い家族に応援グッズ入り「エールバッグ」配布事業も行います。

またゴールドリボン・透明リボン事業やチャリティーイベント「レモネードスタンド」等、当事者理解を深め広げて支援者拡大を目指す企画にも着手します。

## 2 事業の実施に関する事項

## 1 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の 予定人数	(A) 受益対象者の 範囲 (B) 予定人数	事業費の 予算額 (千円)
子どもや家族を孤立させないための事業	心のヨリドコロから始まる ママと子どもの自立支援事業	4月～3月(2025年2月まで継続)	香川県内	6～7人	(A)対象の子どもと家族 (B)各回0～3人程度	15,000
	グッドブラザー事業 (病室へ訪問し、子ども達との触れ合い、学習支援、院内交流イベント開催) ※コロナ禍においては学習ワーク作成及び配布、オンライン上での交流、学習支援	各所週1回イベント年4回	香川大学医学部附属病院及び四国こどもとおとなの医療センター及びオンライン上	各回2～5人	(A) 対象の子ども (B) 各回0～20人程度	1,100
	グッドブラザー事業 (絵本・動画作製)	春休み・夏休み各2～3回	香川大学医学部	各回3人程度	(A)対象の子ども (B)各回2～5人程度	500
	グッドブラザー事業 (サポーター研修会)	年12回	各会場及びオンライン上	各回5人程度	(A) サポーター (B) 各回10～20人程度	400

	小・中・高校生向けプレゼンテーション講座「Maruつとプレゼン」 ～自分の好きを伝えるSHOW&TELLに挑戦～	年5回	マルタス	各回2～4人	(C) (A)小・中・高校生	1,000
	香川県・高松市小児慢性特定疾病児童等自立支援事業(電話相談,ピアサポート交流会,相談会)	年48回 年2~3回	丸亀事務所 高松事務所 イベント各会場	各回1名 イベント5人	(A)対象の子どもと家族 (B)各回0～3人程度、イベント3~20家族	950
	「エールバッグ」配布事業	年12回	香川大学医学部附属病院及び四国こどもとおとなの医療センター	各回2名	(A)対象の家族 (B)各回15人程度	200
	講演活動	年4回程度	各会場	1人	(A)一般 (B)各回10～50人程度	50
	レモネードスタンド事業	年3回程度	香川県内イベント	各回5～7人	(A)一般 (B)各回50～500人程度	100
子どもや家族を取り巻く環境の理解を深める情報発信事業	ゴールドリボン・透明リボン事業	立ち上げ回1回 随時	香川県内	10人程度	(A)一般 (B)50～500人程度	500
	販売事業	随時	委託 HP	3人	対象の子どもと家族・一般	300
子どもや家族に役立つ商品の販売事業	オンライン家庭教師	随時	オンライン上	各回1人	(A) 対象の子どもと家族 (A) 各回1人	100

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	事業費の予算額(千円)
該当なし					